

太宰府市地域福祉に関する関係団体アンケート調査

集計結果

●調査概要

○回収結果

配布件数（件）	回収件数（件）	回収率（％）
53 件	41 件	77.4%

I. 貴団体のことについて

貴団体のことについてお答えください。

団体名	主な活動拠点
桜町区たんぽぽの会	桜町区
福祉の会あやめ会	ひまわり台公民館
NPO 法人太宰府障害者団体協議会	通古賀太宰府市スポーツ振興事務所内
地域福祉ボランティア「あすなろ会」	五条西公民館・いこいの家
星ヶ丘子育ていきいきサロン	星ヶ丘公民館
東観世友愛会	東観世公民館
くすの会	吉松共同利用施設
高雄台福祉わかば会	高雄台公民館
梅ヶ丘区ふれあいの会	梅ヶ丘公民館
国分区自治会福祉推進協議会	国分公民館・国分ヶ丘集会場
通古賀子育てサロン	通古賀共同利用施設大ホール
白川ほのぼの会	白川公民館
ひよこよちよちクラブ	五条公民館
榎区たんぽぽの会	榎公民館
水城台区「福祉ふれあい会」	水城台公民館
国分子育てサロン・うさぎ広場	国分ヶ丘集会場
五条台区自治会福祉部	五条台公民館
向佐野福祉の会	向佐野区公民館内
おひさまサロン	高雄公民館
太宰府市子ども会育成会連合会	太宰府市
高雄区福祉部	高雄区公民館
たんぽぽの会青葉	青葉台共同利用施設
ひまわりクラブ	長浦台共同利用施設
緑台区福祉部・ひまわり会	区内
坂本区ひまわり会	坂本公民館
長浦台ひまわり会	長浦台公民館及び区内
榎寺ひまわり会	榎寺公民館
都府楼ひまわり会	都府楼自治会

団体名	主な活動拠点
星ヶ丘ひまわり会	星ヶ丘公民館
松川区ひまわり会	松川区自治会（松川区公民館・松川いこいの家）
東ヶ丘区福祉部ひまわり会	東ヶ丘公民館
北谷ひまわり会	北谷公民館他
通古賀区ひまわり会	通古賀公民館・おうぎ館
三条台区福祉部ひまわりの会	三条台公民館
ひまわり会	湯の谷西区内
湯の谷ひまわり会	湯の谷公民館
三条ひまわり会	高齢者の方が多いので、ふれあいの場として公民館、他で地域の方々と活性化を図る目的で活動しています。
新町区ひまわり会	新町区公民館
水城区ひまわり会	水城区共同利用施設
湯の谷西ひまわり会	湯の谷西公民館
芝原ひまわり会	芝原公民館、芝原公園

活動年数

項目	件数	%
9年未満	14	34.1
10年～19年	14	34.1
20年～29年	9	22.0
30年～39年	1	2.4
40年以上	1	2.4
不明・無回答	2	4.9
全数	41	100

Ⅱ. 貴団体の活動について

問1 貴団体の活動内容を教えてください。特に、地域住民と一緒にいることがあれば教えてください。

団体名	活動内容
桜町区たんぼぼの会	地域福祉。地域の方とのコミュニケーションを大事にしています。 食事会など。外で子どもたちの通学見守り。
福祉の会あやめ会	毎月第2金曜、公民館で講和、演奏会、体操など開催。年2回、福祉バスを利用しての日帰りバスハイク（果物狩りなど）。 公民館での行事の際は、手作りでのお昼ごはんを提供。
NPO 法人太宰府障害者団体協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の交流、職業訓練、地域との交流。 ・自治会主催祭りへの出店。 ・市、社協主催イベントへの出店（人権まつり、福祉まつりなど）。 ・ボッチャ大会などスポーツイベントの出催。
地域福祉ボランティア「あすなる会」	<ul style="list-style-type: none"> ・区民60歳以上の方を対象に春の食事会、秋の食事会、ぜんざい会などを行う。 ・子ども会を対象に七夕会を行う。 ・毎週水曜日60歳以上の方を対象に卓球を開催中。
星ヶ丘子育ていきいきサロン	高齢者サロンと同時開催のため、異世代間交流を行っている。行事のお菓子作りや芋掘り、BBQなどを行っている。
東観世友愛会	七夕まつりで子どもたちと笹飾り作りなど。 夏まつりで麦茶当番。 どんど焼き参加。
高雄台福祉わかば会	月3～4回サロン活動。自治会行事の参加手伝い。
梅ヶ丘区ふれあいの会	地域住民がこの会の活動（ふれあい料理教室）を通して、親睦の輪を広げて連携を深め、日常の生活をより豊かに、より楽しく、より健康に過ごせるようにする。活動内容は、管理栄養士が考案したレシピをもとに調理活動を行い、会食する。また年1回バスハイクを行う。地域交流として積極的な自治会の行事などに参加したり、他グループ（特に長寿クラブの梅社会）との交流。
通古賀子育てサロン	毎月子育て支援センターの出前保育があり、準備や先生の補助をする。年に一度クリスマス会時、手作り品（おもちゃ）を作成する。
白川ほのぼの会	年間を通じての元気体操、バスハイク、映画上映会、食事会などを行っていますが、今年度は体操の他は活動できていません。 地域の他団体との活動は、現在は行っていないが、今後は長寿会との連携を考えています。

団体名	活動内容
くすの会	バスハイク、救急救命講習会、高齢者の交通安全講習会、もちつき大会、いきいき体操、新年会。
国分区分自治会福祉推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動に関する研修（福資講座など）。 ・高齢者との交流（いきいき元気教室、語らいの部屋、さわやか積木あそび他）。 ・安心して子どもを育てられる環境づくり（うさぎ広場）。 ・高齢者を集めてのバス旅行（元気会年2回）。 ・健康推進に関する研修（健康講座など）。
ひよこよちよちクラブ	0歳児～未就学児と保護者の見守りと支援。
榎区たんぽぽの会	高齢者（65歳以上）や独居世帯で公民館活動や老人会などへのつながりがない方々との安否確認、公民館への誘いにより対話、親睦（ゲーム・手遊び・食事会）を通して地域交流を行う。
水城台区「福祉ふれあい会」	<p>サロン活動。自治会が実施するイベントへの参加呼びかけ（夏まつり、もちつきなど）。</p> <p>バスハイク（令和2年度はコロナ禍で活動としてはできませんでした）。</p>
国分子育てサロン・うさぎ広場	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流の場（主にママ友づくりのためのサロン）。 ・支援センターで協力での出前保育。 ・行事、誕生日会などのイベント。
五条台区自治会福祉部	日帰り（研修）旅行、いきいき元気教室、もちつき大会、お楽しみ会。
向佐野福祉の会	向佐野区のみなさまが安心・安全で暮らせる住み良いまちづくりを目的に活動しています。
太宰府市子ども会育成会連合会	各子ども会や育成会が計画した活動の支援。また、市子連主催の事業の実施。
高雄区福祉部	サロン、体操教室の開催、子ども会とのもちつき。
たんぽぽの会青葉	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者との交流。 ・子どもとの交流（昔遊びなど）。 ・地域の資源回収。 ・地域住民同士の交流。
緑台区福祉部・ひまわり会	ひまわり会と一緒にロコモ体操、なかよしサロン、OYG 料理教室。高齢者訪問。
湯の谷ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり会サロン。 ・子ども会と七夕。
坂本区ひまわり会	<p>本年度コロナで行えなかった活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン ・体操教室 ・資源回収 ・七夕まつり ・バスツアー ・みそ作り

団体名	活動内容
ひまわりクラブ	子育てサロン。男の料理教室との連携。 老人会と連携しようとしたが、高齢者が集まらなかった。方法を考えないといけないと思った。
長浦台ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守り活動。 ・地域内の公園及び道路沿線のゴミ拾い（特に小学校周辺、植え込みなど）。 ・子ども会と七夕まつりの飾り作り、笹飾り。 ・自治会の手伝い、ゴミの収集、夏まつりの手伝い、敬老の日の台所調理手伝い。
榎寺ひまわり会	七夕やひなまつりなど季節の行事。
都府楼ひまわり会	いきいき元気教室（年4回）。 ウォーキング（域内公園めぐり）。 福祉ふれあい畑事業。 歌声サロン（年3回）。 調理教室。 日帰り親睦会。
星ヶ丘ひまわり会	星ヶ丘にお住まいの一人暮らし（65歳以上）の方を対象に、毎月第2水曜日に星ヶ丘公民館にてボランティア手作りの食事会やお楽しみ会を行っています。地域住民のグループが楽器演奏や歌の演奏会を行っている。
松川区ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン。 ・長寿クラブ松栄会との合同行事（リサイクル、公園清掃）。 ・いきいき元気教室。 ・映写会。 ・正しいラジオ体操教室（児童・保護者）。 ・児童の登下校時見守り活動。 ・自治会行事活動（夏まつり大会、敬老会、もちつき大会）。 ・子ども育成会（ハロウィン、クリスマス）。 ・高齢者日帰り視察旅行。 ・サロン開催時チラシを持って見守り訪問活動（会員→75名へ）。
東ヶ丘区福祉部ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活支援 ・サロン（毎月2回）。 ・イベント開催（バスハイク、早春の集い（ともに年1回）、元気教室（年2回））。
ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（70歳以上を対象）とのサロン（花見会）。食事をしながら語り合う。ストレス解消、悩み、楽しいことを話す。 ・高齢者の見守り（特に2020年はコロナ禍でマスクを配布）。 ・バスハイク。

団体名	活動内容
三条台区福祉部ひまわりの会	ふれあいサロン。いきいき元気教室。バスハイク。
北谷ひまわり会	日帰り団体旅行（年に1～2回）。
通古賀区ひまわり会	子ども会と一緒に七夕飾り制作。
三条ひまわり会	区の行事、老人会参加、12月もちつき、子ども会と参加、区民まつり、月1回公民館掃除、集会。
新町区ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・癒しの集い、茶話会（わたぼうしの会）。 ・七夕まつり、多世代交流。 ・親睦会楽しい脳トレゲーム。 ・映画会（太宰府映画クラブ）、癒しの集い、食事会。 ・福祉もちつき会独居高齢者配布（子ども会と合同）。 ・花見親睦会（食事、ゲーム）。
水城区ひまわり会	年3回の交流。
湯の谷西ひまわり会	<ul style="list-style-type: none"> ・住みよい地域づくりのための、特に高齢者を対象とした活動及び会員相互の親睦、学習会等。 ・サロン活動、バスハイク、男の料理教室。
芝原ひまわり会	高齢者を対象にサロンを開いています。体操、脳トレ、レクリエーションを通してコミュニケーションを図り、心身ともに健康を維持できるように努めています。「サロン」は公民館で月1回、芝原オリジナルの「フリーゴルフ」を屋外で週1回開催しています。

問2 貴団体では、活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

項目	件数	%
自治会	36	87.8
子育て支援センター	8	19.5
診療所・病院	0	0.0
生活支援コーディネーター	1	2.4
サービス提供事業者	4	9.8
保育園(所)	2	4.9
民生委員・児童委員	30	73.2
ボランティア団体	2	4.9
小・中学校	2	4.9
老人クラブ	13	31.7
N P O	0	0.0
P T A	2	4.9
社会福祉協議会	30	73.2
商店街	0	0.0
その他	8	19.5
地域包括支援センター	12	29.3
企業	0	0.0
特に関係はない	1	2.4
不明・無回答	0	0.0
全数	41	100

【問2で「自治会」～「企業」のいずれかに○をつけた方】

問2-1 具体的な内容もご記入をお願いします。

団体名	活動内容
桜町区たんぽぽの会	活動資金や移動の協力を助けてもらっています。
NPO 法人太宰府障害者団体協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ大会（民生委員、自治会、ボランティア団体、高等学校）。 ・くるmais修理（筑紫台高校自動車部）。 ・梅ミツ作り（福岡農業高校）。 ・ダンボールコンポスト作り（保育園）。 ・防災協議会（他の障がい者団体、障がい者施設）。
地域福祉ボランティア「あすなる会」	<ul style="list-style-type: none"> ・区の行事クリンデー、資源回収、夏まつり、敬老会、もちつきなど参加。 ・老人会主催の体操教室参加。 ・一人暮らしの方の家庭訪問など（民生委員の方と）。
星ヶ丘子育ていきいきサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・芋苗植え、芋掘り。 ・絵手紙教室。 ・お月見だんご作り。 ・もちつき、ダーツ大会など。
東観世友愛会	自治会より活動助成金をいただいています。
くすの会	活動するときにお手伝いをしてもらったり、お話をしてもらったりしています。もちつき大会のときは、自治会にいろんなことをしてもらっています。
梅ヶ丘区ふれあいの会	自治会の行事のもちつき会では会員が中心となって豚汁を作っている。校区の運動会後の打ち上げや敬老会にも関わっていた。会員の中に民生委員がいるため地域の情報を知り、過去に独居老人宅の片付けなどに協力したこともある。老人クラブとは年1回会食交流をしていた。
国分区自治会福祉推進協議会	問1に同じ。
通古賀子育てサロン	支援センターの先生方のお手伝いをする。クリスマス会時、自治会役員の参加も願います。
白川ほのぼの会	民生委員を通じて、気がかりな高齢者に対する行事へのお誘い。サービス提供者は講師派遣依頼。助成金の受給。
ひよこよちよちクラブ	<ul style="list-style-type: none"> ①自治会は会場代無料。 ②子育て支援センター：保育士（出前保育）。 ⑦民・児委員：会員として活動。 ⑬社協：活動助成金支援。 ⑮社協福祉委員：会員として活動。
榎区たんぽぽの会	民生委員や地域の方々より対象者を検討し、本会の諸活動への参加調整を行う。
水城台区「福祉ふれあい会」	自治会役員が福祉ふれあい会の活動を行う上でサポートしていただく。参加呼びかけに民生委員・児童委員にもお願いしている。

団体名	活動内容
国分子育てサロン・うさぎ広場	自治会（国分區福祉協議会の所属の中での活動）。社協…助成金など。支援センター…出前保育の協力。民生委員…スタッフとしての参加など。
五条台区自治会福祉部	誕生日会（老人クラブ）、歓迎会、送別会（PTA）、もちつき大会、防災訓練（防災防犯部）。
向佐野福祉の会	①・⑦・⑩は行事の参加を声かけ。行事は月に一度は行っている。 ⑬・⑭は助成金、また、会議レクリエーションの仕方などをしてもらっている。
おひさまサロン	保育士の先生の派遣、情報の発信など。
太宰府市子ども会育成会連合会	・自治会内の行事に参加（夏まつり、敬老会、餅つき、どんど焼きなど）。 ・小学校に出向き子ども会のPRと入会のお誘い。 ・天満宮の行事への参加。
高雄区福祉部	サロン、体操の講師、内容の案内、紹介など。
たんぽぽの会青葉	自治会福祉部との共同活動。 民生委員高齢者交流活動。 その他学習会など。
ひまわりクラブ	①チラシを作って回覧してもらっている。 ②子育て支援センターの保育士さんに指導をもらっている。 ⑦民生委員、福祉委員、ひまわり会などとともに活動している。 ⑬社協からおもちゃを貸してもらったりした（最近は足りている）。
緑台区福祉部・ひまわり会	ロコモ体操、なかよしサロン、OYG 料理教室。
坂本区ひまわり会	・自治会から資金援助。 ・民生委員はボランティアとして活動。
長浦台ひまわり会	高齢者の見守り活動。ときどき訪問したり、声かけを民生委員さんへ報告。
榎寺ひまわり会	季節の行事（七夕とひなまつり）を自治会と共催している（年2回）。
都府楼ひまわり会	自治会・民生委員との意見交換をしつつ、行事計画を立てている。社協も同じです。
松川区ひまわり会	福祉部（ひまわり会長）の構成員として、自治会福祉活動会事務連絡がとれている。
星ヶ丘ひまわり会	・ボランティアとして自治会長や民生委員も一緒に活動している。自治会より補助金。 ・社協の方が公民館の食事会に参加し、高齢者やボランティアと交流。社協より助成金。 ・包括の方が公民館の食事会に参加し、高齢者やボランティアと交流。「高齢者のフレイル予防」「安心サポートガイド」パンフレットをいただく。

団体名	活動内容
東ヶ丘区福祉部ひまわり会	1.13.16：活動費の支援。 7：イベント実施支援。
北谷ひまわり会	旅行の参加の呼びかけ。
通古賀区ひまわり会	民生委員をグループメンバーの班長として組織。グループ単位で独居老人宅を訪問。
三条台区福祉部ひまわりの会	社協からの補助金。 いきいき元気教室（スタジオパラディソ、ケントス）。 もちつき。ぜんざい会。夏まつり。
ひまわり会	・自治会企画の「ふれあいサロン」（体操や漫談、歌を歌うなど）に協力している。 ・ママ友サロンのお手伝い。
湯の谷ひまわり会	出前講座など、区夏まつり。
新町区ひまわり会	①自治会ではペタンクを定期的に楽しむ。チーム作り（4チーム）週1。 ④他自治会のコーディネーターを講師として脳トレなど。 ⑤映画クラブを定期的（年1回）に招いて映画を楽しむ。 ⑧わたぼうしの会での癒しの集い。 ⑬社会福祉協議会では地域活動をする上での参考資料など。
水城区ひまわり会	地域住民、年齢に関係なく参加可能。社協から助成金をいただき、市の高齢者支援課のお世話にもなっている。
湯の谷西ひまわり会	自治会主催の子育て支援活動の手伝い。
芝原ひまわり会	ある程度自主独立性を持つために、自治会からは予算はもらっていませんが、集客をはじめ協力してもらっています。社協および包括からは、金銭的な補助をいただいています。社協からは、団体相互の意見交換会など交流会開催や、レクリエーションの物品を借用しています。民生委員には、サロンの協力員として参加していただいています。

問3 貴団体等が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

項目	件数	%
活動のマナー化	15	36.6
他の団体と交流する機会が乏しい	5	12.2
新しいメンバーが入らない	26	63.4
活動の場所(拠点)の確保が難しい	2	4.9
リーダー(後継者)が育たない	27	65.9
活動資金が足りない	2	4.9
市民に情報発信する場や機会が乏しい	1	2.4
人々のニーズに合った活動ができていない	2	4.9
困りごとの把握が難しい	3	7.3
支援を必要とする人の情報が得にくい	10	24.4
その他	1	2.4
特に困ったことはない	2	4.9
不明・無回答	4	9.8
全数	41	100

問4 貴団体では、団体の活動の内容や情報について、どのような方法で発信していますか。

(あてはまるものすべてに○)

項目	件数	%
市の広報紙	6	14.6
社会福祉協議会の広報紙	7	17.1
チラシやパンフレットの配布	21	51.2
ホームページやSNS	3	7.3
メンバーなどによる口コミ	14	34.1
地域の掲示板	13	31.7
その他	15	36.6
不明・無回答	0	0.0
全数	41	100

具体的な情報発信方法

<p>市の広報紙</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールコンポスト講座、障がい者相談会 ・子育て支援センターだより ・支援センターより発信 ・広報だざいふ ・保育所から ・広報紙の一部をコピーして回覧したり、参考に使っています。
<p>社会福祉協議会の広報紙</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンドリンの演奏会するとき、社協の広報に載せた ・人材募集、ポッチャ大会 ・2019年2月の社協だより「ふくしのひろば」で「星ヶ丘ひまわり会」掲載 ・社協へ活動内容を報告 ・2ヶ月ごと（ふくしの広場） ・活動内容を発信 ・広報紙の一部をコピーして回覧したり、参考に使っています。
<p>チラシやパンフレットの配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会員全てに毎月1回行事の案内を配布 ・人材募集 ・毎月回覧に供している ・回覧板、チラシを作って回覧板で回している。 ・高齢者とひまわり会との交流会、七夕飾り、支援者全員へポストイングなど ・年2～3回の高齢者訪問時 ・民生委員による戸別訪問時 ・「ひまわり会」の活動に参加されていない一人暮らしの方へ毎年4月にご案内を届けている。令和2年は58名へ ・クリスマス会のチラシを配る ・毎年サロン参加見込者リストを作成して、会員が事前に訪問配布 ・チラシを作成して個別訪問。イベント案内 ・隣組回覧文書のみ実施 ・自治会回覧板や瓦版（新聞）にて活動内容、情報 ・ハガキで案内状を出している ・社協小地域活動実践者合同研修会などで得た他地域の情報や資料などを参考に、ひまわり会にて参加会員に配布、脳トレなどで楽しんでもらう ・市報配付にあわせて、開催予定・内容等作成し、回覧しています。
<p>メンバーなどによる口コミ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会参加者募集 ・七夕飾りは短冊、こよりを配布 ・新しいメンバーのお誘い ・イベント案内 ・参加者の口コミが多い ・仲間で良い情報があると共有 ・他地域での活動を参考にしたり、講師として参加していただき、活動の一環としています。 ・子ども会育成会がチラシ等を作成・配布し、メンバーを勧誘している。

ホームページや SNS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害情報、ダンボールコンポスト ・ 自治会ホームページに掲載 ・ 社会教育課内にホームページを作成
地域の掲示板	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催前に掲示 ・ 区の回覧版など ・ 吉松のみんなの広場に行事をのせてもらっています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の回覧で地域に知らせる ・ 年 4 回発行「五条西だより」を社会協議会へ持参。読んでいただいていると思う。 ・ 案内文を印刷して世話人より手渡し ・ 東ヶ丘だより（1 回／月）にイベント案内・報告掲載 ・ 組長会（毎月）議事の回覧 ・ 自治会総会資料 ・ 市子連だよりを年 3 回作成し、子ども会へ配布し、情報を発信している。市子連だよりは各小学校へも届けている。 ・ 案内状を個別に配布し、その際安否確認を兼ねてできるだけ声かけをする。

Ⅲ. 活動を通して見える地域の状況について

問5 支援を必要とする方が地域の中にいますか。（1つに○）

項目	件数	%
いる	21	51.2
いない	3	7.3
わからない	15	36.6
不明・無回答	2	4.9
全数	41	100

【問5で「いる」に○をつけた方】

問5-1 どういった支援を必要とされる方がおられますか。

・高齢で外出する機会の少ない方。
・一人暮らしの方がだんだん増えていて、孤立をなるべく避けて、月1回ではあるが会員さんとの交流、食事をしながら会話を楽しむ（孤立を避けて孤独にさせない）。
・障がいを持つ人の交流や職業訓練。一人暮らしの高齢者。
・ボランティアスタッフに組長や婦人部の高齢の方にもお手伝いしてもらっている。
・買い物。
・一人暮らしの方で公民館でのひまわり会活動に参加したいが歩いて公民館まで行けないため参加できない。
・ボランティアの負担や安全面から送迎は行っていない。
・コロナ禍で活動も制限され参加人数も少ないですが、その中でも初めて参加された方はとても喜んでおり、子育ての悩みなども相談されています。
・ひきこもり。認知症。
・民生委員の訪問や回覧板の受け取りなどを拒否する方の社会とのつながり確保。
・体調などで自由に外出ができにくい方が多く見受けられる。
・サロンの開設やイベントの実施。
・日頃からイベントやサークル活動に参加されないとじこもりがちな高齢者の方がみられる。
・一人暮らしの日常支援（ゴミ出し、電球の球換え、買い物）。
・一人暮らしの避難時の支援。
・草刈り剪定、資源（回収）の持ち出し、話し相手、災害時の避難。
・憩いの場などで話したり、食事したりして集まって楽しめることが一番良いことだと思えるので、今まで以上に声かけなどをしていくことが大切だと思います。
・民生委員の方が支援を必要とされる方があったときは、包括支援の方を紹介して訪問されているようです。認知の方が少しずつ多くなってきているようです。
・私たちの活動に参加していただけない独居高齢者に対する支援が必要と考えている。
・日常で困りごとがないか尋ねて、地域包括支援センターへ訪問を依頼。
・定期的に訪問活動をする（安全確認）。
・「お変わりないですか」「何かお困り事はありませんか」等、日常会話。
・もの忘れがあるため、誰かが電話等で知らせる。
・足に痛み等があるため移動が困難。移動の支援。
・障がいをかかえた子達が子ども会内で育成会等の工夫で活動している。保護者と共に行事に参加し、付き添いや見守りをしている。また、保護者の判断で参加が難しい場合は参加を見送っている。
・強い食物アレルギーの子は事前に果物や菓子の代替えを準備することも実施。

問6 地域の中で課題に感じることや、活動を通してよく聞く困りごとは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

項目	件数	%
あいさつをしない人が多い	3	7.3
近所との交流が少ない	14	34.1
世代間の交流が少ない	26	63.4
地域の活動が活発でない	4	9.8
地域の中で気軽に集まれる場が少ない	6	14.6
移動手段が整っていない	6	14.6
買い物へ行くのに不便を感じている	17	41.5
緊急時にどうしたらよいかわからない	8	19.5
治安が悪くなっている	1	2.4
地域から孤立している人がいる	9	22.0
サービスに結びついていない人がいる	5	12.2
その他	2	4.9
特にない	3	7.3
不明・無回答	1	2.4
全数	41	100

その他回答

・協力者が少ない
・一人暮らしが多い

問7 既存の公的な福祉サービス（児童福祉サービス、障害福祉サービス、介護保険サービスなど）では解決できず困っている問題があると感じますか。（1つに○）

項目	件数	%
ある	6	14.6
ない	8	19.5
どちらともいえない	23	56.1
不明・無回答	4	9.8
全数	41	100

【問7で「ある」に○をつけた方】

問7-1 どういった問題ですか。また、問題に対してどのような支援があればよいと思いますか。

<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険を利用してその流れにのれる方はベストですが、なかなか受け入れられない方。家族との関係も多少あります。
<ul style="list-style-type: none"> ・①市内交通機関の整備。 ②介護サービスなどの支援の相談場所（包括センター）がない（遠い）地域がある。 ③ひきこもりの人を外にひっぱりだすための集合場所。
<ul style="list-style-type: none"> ・今は介護保険サービスを受けずに頑張っている高齢者はとてもすばらしいことだと思います。より長くそのような生活が送れるような環境づくりを行政には望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭において各種サービスを利用できるかどうか相談に行けていない方もいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの子が子ども会加入の意欲が強かったが、実際の子ども会活動の様子を聞き、断念された。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスは、基本的に相談からの自己申請の世界にあると考えます。その内容が広く一般に知らされていないようで、対応がまだまだ進んでいないような気がします。特に、太宰府市は、ケアマネなどが市職員のため、何か力強さが足りないような気がする。一般の介護事業所への委託などを考えて、広く支援の幅が広がるといいと思います。

IV. 今後の活動について

問8 貴団体が活動をしていく上で市に望むことはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

項目	件数	%
団体や活動についてのPR	2	4.9
他団体とのネットワーク化	7	17.1
活動上必要な情報の提供	18	43.9
団体運営上の助言	8	19.5
活動場所の提供	3	7.3
設備・備品の充実	6	14.6
会員募集の支援	8	19.5
成果の発表の場の提供	2	4.9
リーダーの養成支援	16	39.0
その他	2	4.9
活動資金支援	9	22.0
特にない	6	14.6
不明・無回答	2	4.9
全数	41	100

その他回答

・他の子育て関連を開催している地区との情報交換
・コロナ禍での活動の仕方

問9 今後、貴団体として行政との協働でどのようなことに取り組めるとお考えですか。

<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を中心にサポートしながら活動していけたらベストですが、地域の協力が望めません。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の中の障がい者のスポーツ大会（例：ポッチャ大会）。 ・環境大会があれば、ダンボールコンポストの講演を行いたい。 ・防災大会で障がい者、高齢者の防災対策について講演を行いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私たち「あすなる会」は創設15年になります。年齢的にも高齢者が多くなりました。区での行事参加で楽しく情報交換をしていきたいと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃からボランティア活動に参加するような事業をいろいろな角度から実施してほしい。 ・子どもの豊かな感性が育まれるようなことを考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の主催で行われる文化的行事などにシャトルバスを運行してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな活動の仕方をリーダーに教えてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の炊き出し支援。
<ul style="list-style-type: none"> ・隣組長は順番ですが、ひまわり会などのボランティア活動は“私にはできない”“いつも忙しそうだから”などと協力的でない。“常日頃、自治会の活動にはひまわり会が後で忙しそうに動いているのを見てから”と勧めても断られる。高齢化のひまわり会は減る一方だが、これから細く長くと思ってる活動です。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に必要な情報をお伝えするということくらいしか浮かびません。自治会の中の会という認識なので、地域の方との関わり方も個人情報などの点からどの程度関われば良いのかわかりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（一人暮らし）を孤立させない（行政の力を借りたいことが多々ある。もっと相談できる人材を育成してほしい）。
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ボランティア団体に対し運営助言、協力、サポート。 ・関係機関及び団体との連携調整と福祉情報の収集交換。 ・福祉ボランティアの募集と組織他の支援。 ・福祉推進のための啓発運動。 ・お世話型から自立支援型へと身体と心の健康を目的として予防福祉に重点をおいた活動。
<ul style="list-style-type: none"> ・まだスタートして間もないので、ボランティアメンバーを無理をせず続けることを考えています。今は月1回の活動支援とクリスマス会の準備などでメンバー間の交流を図っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、居場所づくり、多世代間交流を目指していますので、行政から地域福祉活動分野について横割り連携を目指す活動とPR研修リーダーの育成を取り組んでほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・早期ワクチン接種の実現を望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や独居老人を対象にしたイベントを小規模な型で開催。講師を行政から派遣していただく。開催場所も地区の数ヶ所で開催するなど工夫が必要。高齢者は歩行が不自由な方が多い。また、耳が遠い方も多いので配慮が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て関連について、協力体制を整えていますので、交流できる催事を計画されたら参加したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と一緒に楽しいことをやりたいと思う人が集ったボランティアの会なので、自分たちのできることをやるだけなので、行政と協力して何かしようという思いはない。
<ul style="list-style-type: none"> ・下記の通り今までの活動を行いながら、デジタル化を見据えた福祉活動にもチャレンジしていくこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政と情報をやりとりし補助を受けながら、活動は地域の人を楽しめる内容を目指し展開していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの要望などがあれば、協力できるところは協力していきたいと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公民館活動を活性化したい。

<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館からの助言や指導がほしい。 ・学習の場があると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が2F、3Fのフロアしか利用できないので、どこかに老人いこいの家みたいなものをつくっていただきたい。集える場所があれば、自然と集まり、緊急時などにも顔が見えると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進みいろいろ大変な時期にさしかかっていると思います。今はみなさん喜んで参加されています。コロナの時期でも集まりたいね～との声があるらしいです。みなさんが喜ばれるような活動をしていきたいと常にみんなと話し合っ行動できていることをありがたく思います。年輩の方でも参加して楽しめるような企画をしていただければ、参加することでひきこもりの方も少なくなり活性化できるかなと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は「コロナ感染」の関係で多くの人に集ってもらう活動ができないので、会員自身の学習や交流をやっていますが、多面的で利用しやすい「出前講座」を増やしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・西小学校での子ども会加入率がとても低い。小学校や行政から入会につながる支援がいただけないだろうかと切望している。任意加入であり、強制加入でない団体であることが加入率を下げる大きな要因だと思う。すべての子どもたちが楽しいと思える子ども会活動が理想なのですが。
<ul style="list-style-type: none"> ・個人の意見になり申し訳ありません。行政がどのような動きをされているのか。把握できていません。というより、あまり知らない・関心がないというのが正直なところ。まずは、太宰府市が健康福祉の面から、各団体に何を望んでいるのか？ターゲットに対しての具体的に起こされている施策、行動を知りたい。健康福祉部福祉課の目に見える実績を知りたい。そこから始まって、各団体が行政と協働できていない点があれば反省し、今後の活動に活かせることがあると考えます。例えば、催し物に多くの方に参加してもらい、健康維持と近隣とのつながりで孤立を防ぎたいとか。そして、支援はどのようにしたいのか、現在どのようにされているのか等、市と団体間で相互理解（共通の課題）が不足していることがあるのではないのでしょうか。

地域と行政が共に支えあい、すべての人が地域社会で安心して暮らすことができる「ここに住んでよかった。住み続けたい。」と思える「福祉のまちづくり」を進めていくため、太宰府市に対するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> ・この町は住みやすく、少し高台もありますが交通の便も良く、買い物もスーパーがあり便利です。少し生活困窮者の方も多いたが、見守りながらいきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域で感じるのは、福祉に対する理解がなく、自分さえ良ければと思っている人が多い。他人に対し無関心な人が多いように思える。一人暮らしの方が年々増える中、高齢になっての一人暮らしで、寂しさを察してあげる人が少ない。市に対しては援助もしていただいているので要望はこれ以上ありません。一人ひとりがもっと優しくなってほしいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の集会場所を中学校単位に整備してほしい。 ・まほろば号は都府楼駅が基点となっているが、一度乗り換える必要が出てくる。市役所を基点として再構築してほしい。 ・太宰府市には映画館、書店がないため、周辺市に出かけたいが、バス便では他市へ行けない。5市共同の運行システムを考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・病院へ通うための無料のバス、巡回バスがあれば助かります。病院だけでなく、買い物にも使えれば良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・健康維持のための高齢者ウォーキングコース。
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の問題点はあるが、高齢者情報、独居者情報などなど直近状況がわかれば対処が早くできる。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染が落ち着いたら、気軽に参加しやすいイベントなど、各地区単位くらいの小規模でやってもらいたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターの設置 ・現在、自治協議会が小学校区の単位で6校区あり、12年目を迎え活動している。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中学校区4地区または、小学校区6地区いずれか方針を決めてほしい。 (2) コミュニティセンターとして、自治会長の組織に加え、福祉関係の組織、団体、法人、企業などを加え、まちづくり運営協議体として設立する。 (3) 市→自治会の関係の中間にコミュニティセンターを設置し、広く地域住民、組織団体のみなさんで支え合う福祉のまちづくりを目指していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・宗像市のような住民に対する真の寄り添いサポートの実現。 ・太宰府市としての「福祉のまちづくり」のビジョンを具体的に提示してほしい。勉強不足かもしれないが、太宰府市としての特徴が見えない。自分自身「やっているつもり」になっているところがあると反省している。※特に高齢者対象
<ul style="list-style-type: none"> ・市に対する意見、要望ではありませんが、現代は高齢になっても働き続けることが奨励され、また、個人も働ける間は働きたいと考えている人が多数になっています。また、子育てを終えた女性も働いている方が多いので、この会の活動にお誘いする方があまり見当たりません。今後、仕事をしながらボランティア活動がどうしたら両立できるかを模索していかなければならないと思います。市の方でこういうことについてのアドバイスなどがありましたら御教示ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や独居老人が気軽に行けるサロンの開設。通古賀区のような広域の自治会では、公民館だけではサロン開設しても限られた人しか来てもらえない。
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の地域福祉活動をどのように進めていけば良いのかを具体的にアドバイスや支援を行っていただければと願っています。 ①活動の中心となりうるリーダーの育成。

<p>②諸活動に伴う人的支援（例：介護士・保健師など）。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・今のところはこの地区は住みやすいところだと思っていますが、年をとったときに安心して入居できる施設が整っているようにしてほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・これから高齢化を迎える日本、太宰府市においても避けては通れないことです。安全安心で健康ないきいき暮らせるまちづくりにおいて、行政、地域（スタッフ）ともにデジタル技術の活用は不可欠ではないでしょうか。AIやIOTが日進月歩する中で、福祉活動にもデジタル化を少しずつでもいち早く取り入れ実践していきましょう。コロナ禍で人と人とのコミュニティ（接触）が思うようにできないこの機会にオンラインによるセミナー、オンラインによる福祉活動を行うことは可能です。受ける側の環境という課題はありますが、デジタル化によりフレイルの予防をしていくことができるのではと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度地域の方とのクリスマス会を実施していたのですが、その時感じたのが、参加くださった高齢者の方が嬉しそうに小さい子をあやしたり楽しそうにされ、若いお母さんたちも昔の子育てなどの話を聞いたりされている場面を見ながら、どちらにも良い影響があると感じたことがあります。老若男女に関わらず、自由に行き来できるような施設があれば、どちらにも良い関係が生まれ住みやすくなるのではと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加する中、買い物支援（移動販売）、医療支援、生活支援。 ・災害時の避難所の確保、物資の備蓄、ボランティアの養成。
<ul style="list-style-type: none"> ・困りごと相談などの一本化。 行政が地域に出向いての話し合い（要望を聞くとか…）。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしが多いので、毎日の電話による安全確認などをしてくれると良いと思う。地域活動は有意義で楽しいと思うが広がらない。やりたくないという人が多い。行政による指導が必要と思うことがある。押しつけではなく、行政による圧力と思われる人もいるかもしれない。本当の民主主義が定着していない日本社会では、今のままでは地域社会が危ないと思う。行政は家庭→地域で成り立っていると思う。現在、地域のつながりが薄くなってきていて不安である。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対しての取り組みが乏しいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・『地域と行政が共に支えあい…』とは、共通の認識を持つということと考えます。まずは、住民がどのような生活状態であるか、地域で把握していることを市が吸い上げる。あるいは、市が知り得た情報を、守秘義務の範囲で地域が情報を共有し、地域においては誰かが中心となって、組織的にすそ野を広げて、地域の福祉に対応できる組織作りが必要と考えます。民生委員は独立・中立な組織なのでなかなか難しいと考えます。かといって自治会でというのも、業務範囲に入るかということ、これも難しい。ということは、「誰がする??」となって、あやふやになりかねない感じがします。例えば、何か困っている方に手を差し伸べることはできるが、誰が何に困っているのかの把握を誰が行うのか、実行に誰が移すのかが、よくわかりません。というか、私が理解していません。その点が大きな課題と考えます。「私は、一人で自由に過ごしていきたい。干渉されたくない」という方には、どのような対応が適切でしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・移動が便利にできるよう、まほろば号をもっと利用しやすくしてほしい。水城から市役所に行くのも、乗り換えやその時の待ち時間を考えてほしい。乗り換え時に、すでに行ってしまう場合もある。